

＜執筆要項＞

1. テーマは言語研究、言語教育に関するもので、使用言語は日本語もしくは英語をお願いします。
2. 論文は、ワープロ・コンピュータ等でプリントアウトしたものを3部提出して下さい。

論文の長さは、ワープロ書式にて以下の通りとします。

和文の場合：38文字×30行×18ページ

英文の場合：73～74文字(10～12単語)×32行×20ページ

(※ 参考文献、資料等論文に付随するものも上記に含めます。)

なお、ご提出いただいた論文は原則としてご返却いたしかねますのであらかじめご了承下さい。(※ フロッピーディスクは採用決定後にご提出下さい。)

3. 和文・英文とも、要旨(原則として英文、100～200語程度)とキーワード(3～5語程度)を付けて下さい。
 - ・ 要旨はなるべく一段落にまとめ、和文論文には英文タイトルを付けて下さい。
 - ・ タイトル、要旨、キーワードの体裁に関しては別紙をご参照下さい。
 - ・ 文献及び注釈は論文末に一括して下さい。
4. 原稿の採否に関しては、編集委員会に御一任下さい。また、書き直しをお願いすることがあります。
5. 論文採用決定後に、論文(要旨、参考文献、資料等を含む)を収めた3.5インチフロッピーディスク(テキストファイル)にタイトルと氏名と論文作成に使用した機器及びソフトを明記の上ご提出下さい。なお、提出するフロッピーディスクは、必ずバックアップをお取り下さい。
6. 校正は初校印刷があがりましたら、各執筆者にお願いすることになりますので、ご協力お願い致します。
7. 抜き刷りは20部まで無料で作成いたします。これを超過する分に関しては実費をいただきます。
8. 論文入力に際しては、次頁の「入力上のお願い」をご参照下さい。

<入力上のお願い>

1. テキスト形式(MS-DOS)で入力して下さい。
 - ・各ワープロソフトの保存形式のうち、「テキスト形式」にて保存したファイルをご提出下さい。
2. ハードコピー(A4用紙でのプリントアウト)を添付して下さい。
 - ・テキストスタイルで作成した文書は、文字情報以外の表組、ルビ、文字修飾、レイアウト情報などが再現できません。それらは再度入力しなおしますので、A4サイズのハードコピーを添付して下さい。
 - ・また、文字情報以外で再入力時に注意すべき点はハードコピー上でご指示下さい。
(例) 丸で囲んだ文は用紙中央横倍で入力
論文中二重下線部はイタリックにする
3. 使用されたハード・OS・ソフトを明記して下さい。
(例) パソコン: NEC・Windows 95・一太郎8
ワープロ: 富士通オアシス100FX
4. 必ずバックアップをとって下さい。
 - ・ご提出いただいたフロッピーディスク及びデータの管理には万全を期しますが、不測の事態に備え、バックアップを保管して下さい。
5. 3.5インチフロッピーディスクにてご提出下さい。
6. レイアウトに関して
 - ・上下左右のマージン、タイトル文字サイズ、要旨部分の文字サイズなど、体裁上統一の規格が必要なものに関する詳細につきましては、採用決定後にお知らせいたします。
 - ※また、一枚目(タイトル、用紙、キーワード、本文の冒頭部分)は『言語科学研究』に掲載されている論文の1ページ目を参考にし、それに近い形で入力してください。
7. その他
 - ・音引とダッシュ、マイナスとハイフン、×(バツ)とx(エックス)等形が似ている文字を代用して使用した場合、入力した文字で印刷されますのでご注意ください。
 - ・改行マークは、本来改行するところ以外には打たないようにして下さい。

執筆者紹介（掲載順）

岩 本 遠 億
堀 場 裕 紀 江
外 崎 淑 子
藤 卷 一 真
エ ジ ソ ン 宮 本
高 橋 将 一

神田外語大学大学院助教授
神田外語大学大学院助教授
日本学術振興会特別研究員
東京国際大学非常勤講師
神田外語大学COE、東京大学客員研究員
神田外語大学大学院博士後期課程

日本語学
日本語学
言語学
言語学
言語学
言語学

編 集 委 員

岩 本 遠 億（委員長）
斎 藤 武 生
高 橋 将 一
山 田 昌 史
豊 島 真 理 子（事務担当）

言語科学研究 第7号

2001年3月発行

発 行 〒261-0014

千葉市美浜区若葉1-4-1

神田外語大学大学院

TEL (FAX) 043-273-2971

印 刷 〒112-0002

東京都文京区小石川1-5-12

猪瀬印刷株式会社